

事業所名

放課後等デイサービス Sunny

## 支援プログラム

作成日

令和6年

4月

1日

法人（事業所）理念	① 事業者は、利用児童が生活能力向上のために必要な訓練を行い、社会との交流を図ることができるよう、個々の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとする。 ② 事業の実施に当たっては、地域及び家庭との結びつきを重視した運営を行い、行政、児童福祉施設その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めるものとする。		
支援方針	集団のなかで楽しみながら運動や学習を行い、身体・心・理解力・思考力・知的好奇心・コミュニケーション能力・言葉・生活習慣・学習習慣など幅広い力を引き出せるようにします。子どもたちの明るく豊かに輝く未来を見据えていくために一緒に取り組んでいきます。		
営業時間	11時30分から17時30分まで	送迎実施の有無	あり なし
支援内容			
本人支援	健康・生活	手洗いうがい徹底や習慣づけ、衣服の脱着による体温調節、水分補給、表情や受け答えによる体調確認をして健康管理が出来るようにします。 トイレ誘導やトイレトレーニング、カゴによる荷物管理、忘れ物を減らす声掛けをして身の回りのことが出来るようにします。(身辺自立に向けて) 来所時には必ず学習時間をつくり、一人ひとりに合わせて理解を深め、学習習慣をつけます。	
	運動・感覚	ジャンプやステップ、動きの組み合わせや切りかえ、バランス、跳び箱、大なわ、サーキットトレーニング等の全身を使った運動をします。 スイングやトランポリンといった大型遊具のほかに、ボールを使って全身運動を行い、運動能力を高めます。 1週間ごとに運動課題を変更し、楽しみをもって取り組める内容を提供します。	
	認知・行動	スケジュールボードを使った予定の把握、気持ちを切り替えて次の行動へ移れるような支援、生活の中でのこだわりを減らす取り組みをします。 日々の宿題の取り組みや苦手なこともチャレンジする姿勢や乗り越える力の形成します。 折紙やボードゲームのほかに、ブロックやパズルなどの視知覚教材をつかった取り組みをします。	
	言語コミュニケーション	挨拶等の言葉のやりとりを増やす取り組みをします。 自分の想いを相手に伝える方法や、困った時に相手に伝えられる環境づくりをします。(発達段階により、絵カードや指さし・身振りなどを用いて伝えられるようにします。) SSTや発表する機会の提供、言葉遣いや言い換えの言葉を使ったコミュニケーション能力の向上に努めます。	
	人間関係社会性	小集団や集団生活の中で、活動や運動・遊びを通じて人と関わり、ルールを守って過ごします。 お友だちとの関係作りやどう接したらいいかを考え、良好な関係づくりをします。 人と人との適切な距離感を取れるように支援します。	
家族支援	家庭での困りごとや悩みに対して助言・サポートをします。 定期的な面談を行い、様子の聞き取り・要望や課題の見直しをします。 延長利用の提供	移行支援	小学校生活や中学・高校へ向けて生活や学習に必要な力を身に着けます。 学校や関係機関、相談員さんとの連携を行います。
地域支援・地域連携	地域のスーパーや駄菓子屋さんへ買い物活動 南丹圏域の情報交換会 学校や他事業所との情報共有や連携を行います。	職員の質の向上	毎月職員会議の実施 3法人合同研修会や虐待研修、外部研修 動画による研修
主な行事等	月に1回、工作・習字教室・おやつ作りをします。皆でカレーなどの昼食作りをします。 季節の行事(節分、ハロウィン、クリスマス等) 近くの公園や体育館あそび、長期休み時には外出活動・外食活動・工場見学などのお出かけをします。		